



平成 25 年度 環境の状況  
 平成 25 年度 循環型社会の形成の状況  
 平成 25 年度 生物の多様性の状況



# 第 1 部 総合的な施策等に関する報告



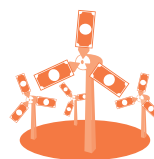
## 第 1 章 地球環境の現状と持続可能な社会の構築に向けて

第 1 節 気候変動問題の解決に向けて	2
1 地球が直面する課題	2
2 低炭素社会の構築に向けた国際的取組と我が国の貢献	6
3 我が国の現状と低炭素社会に向けた取組	9
第 2 節 自然の仕組みを基礎とする真に豊かな社会を目指して	12
1 自然環境の現状と愛知目標の進捗状況	12
2 地球規模の取組	14
3 国内における取組	17
第 3 節 資源がもっと活きる未来へ	21
1 循環型社会形成に向けた現状と課題	21
2 国際的な取組	22
3 循環型社会の形成に向けた国内の取組	23
第 4 節 持続可能な社会の基盤となる環境教育の取組	29
1 「国連ESDの10年」と環境教育	29
2 ESDを担う主体のつながり ～+ESDプロジェクト～	29
3 次世代を担う子供達への環境教育	30



## 第 2 章 被災地の回復と未来への取組

第 1 節 被災地の回復の前提となる災害廃棄物の処理	33
1 東日本大震災により生じた災害廃棄物及び津波堆積物の処理	33
2 巨大災害発生時における災害廃棄物対策検討について	34
第 2 節 被災地の環境回復に向けた取組	35
1 原子力被災者の健康管理等	36
2 放射線モニタリング	37
3 放射性物質に汚染された土壌などの除染	41
4 事故由来放射性物質により汚染された廃棄物の処理	43
5 中間貯蔵施設の整備に向けた取組	45
6 放射線による野生動植物への影響	46
第 3 節 環境保全を織り込んだ被災地の復興 ～グリーン復興～	47
1 被災地におけるグリーン復興の取組	47
2 グリーン経済を先取りした復興の動き	49



## 第 3 章 グリーン経済の取組の重要性～金融と技術の活用～

第 1 節 持続可能な社会の実現に向けた グリーン経済の広がり	52
1 グリーン経済・グリーン成長に関する国際的な議論	52
2 環境産業の現状	53

第2節 環境技術の普及によるグリーン経済の実現—55	2 金融を通じた企業の環境配慮の促進———71
1 グリーン経済実現のための環境技術等の開発とその普及の方策———55	3 グリーン投資の拡大に向けて———74
2 グリーン経済の構築に向けた環境技術に関する取組———57	4 環境金融の更なる発展に向けて———81
第3節 グリーン経済の実現に向けた環境金融の拡大—70	第4節 グリーン経済を支える自然資本———82
1 環境金融の役割と方向性———71	1 「2020年型企業」の責任と役割———82
	2 自然資本 ～自然はタダじゃない～———84
	3 自然資本・生態系サービスの定量評価———90

## 第2部 各分野の施策等に関する報告

1 低炭素社会の構築———92	4 大気環境、水環境、土壌環境等の保全———103
2 生物多様性の保全及び持続可能な利用———96	5 化学物質の環境リスクの評価・管理———105
3 循環型社会の構築に向けて———100	6 各種施策の基盤、各主体の参加及び国際協力に係る施策———109

平成26年度 環境の保全に関する施策

平成26年度 循環型社会の形成に関する施策

平成26年度 生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策

本白書に掲載した地図は、我が国の領土を網羅的に記したものではありません。